

第Ⅱ章

市の現状



江南市マスコットキャラクター
ふじか
藤花ちゃん

1 江南市の人口

(1) 人口の推移

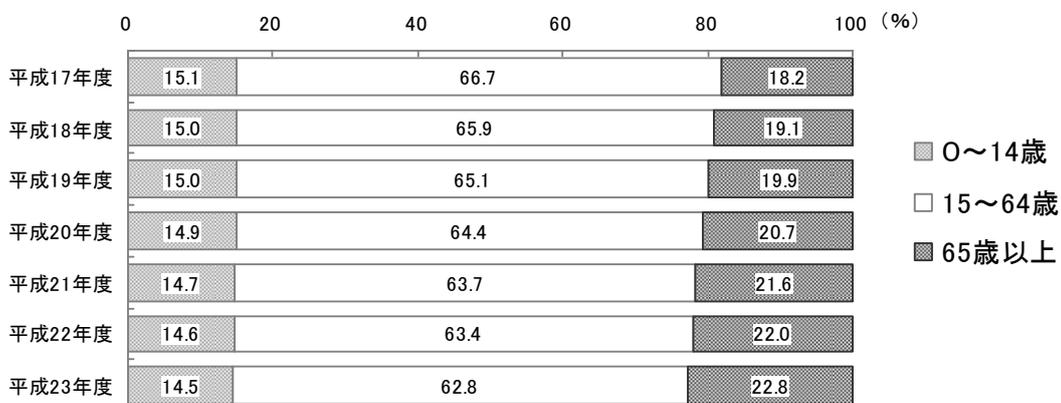
江南市の総人口は、平成20年度まで増加し続け10万2千人を超えましたが、その後減少し、平成23年度は101,591人となっています。出生数（0歳）は平成18～20年度では900人前後となっていますが、平成21年度以降は約800人と減少しています。また、15～64歳の人口は減少し続けており、特に平成21年度は前年比マイナス949人と減少幅が大きくなっています。一方、65歳以上の人口は増加し続けており、特に平成21年度までは毎年900人前後と大幅に増えています。

年齢3区分別人口割合をみると、15～64歳の割合は年々低下しています。65歳以上の割合（高齢化率）は平成17年度の18.2%から平成23年度の22.8%へと増加しています。

表 人口の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総人口	人	100,956	101,368	101,774	102,128	101,857	101,714	101,591
0～14歳	人	15,259	15,228	15,253	15,214	15,016	14,850	14,684
	0歳	849	915	897	892	821	802	817
15～64歳	人	67,353	66,817	66,303	65,804	64,855	64,447	63,792
65歳以上	人	18,344	19,323	20,218	21,110	21,986	22,417	23,115
	65～74歳	人	11,103	11,749	12,241	12,756	12,917	13,156
		%	11.0	11.6	12.0	12.5	12.7	12.9
	75歳以上	人	7,241	7,574	7,977	8,354	9,500	9,959
	%	7.2	7.5	7.8	8.2	8.8	9.3	9.8

図 年齢3区分別人口割合の推移

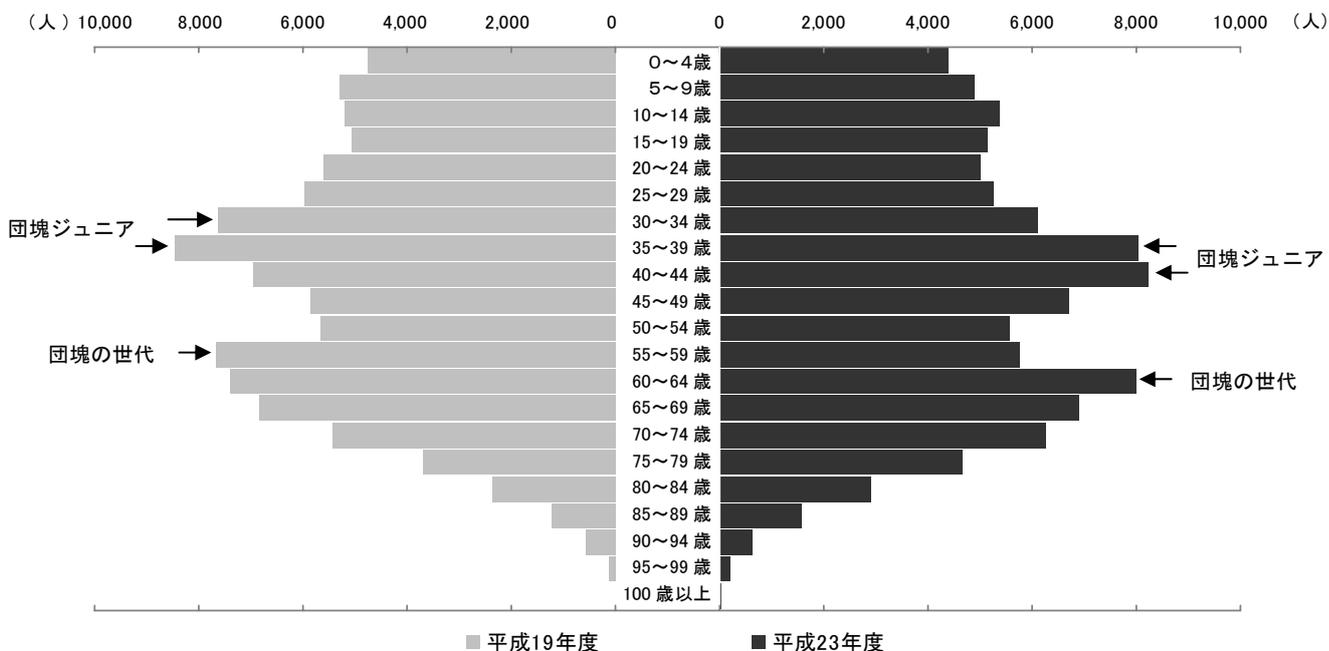


資料：住民基本台帳（各年度3月31日現在）

※割合（%）は該当年齢人口÷総人口のため、「65～74歳」と「75歳以上」の割合の計が「65歳以上」の割合と一致しない場合があります。

第1次計画の中間評価を行った平成19年度と平成23年度の5歳階級別人口をみると、団塊ジュニアの世代と団塊の世代の2つの山があり、平成24年度から団塊の世代が高年期を迎えることがわかります。

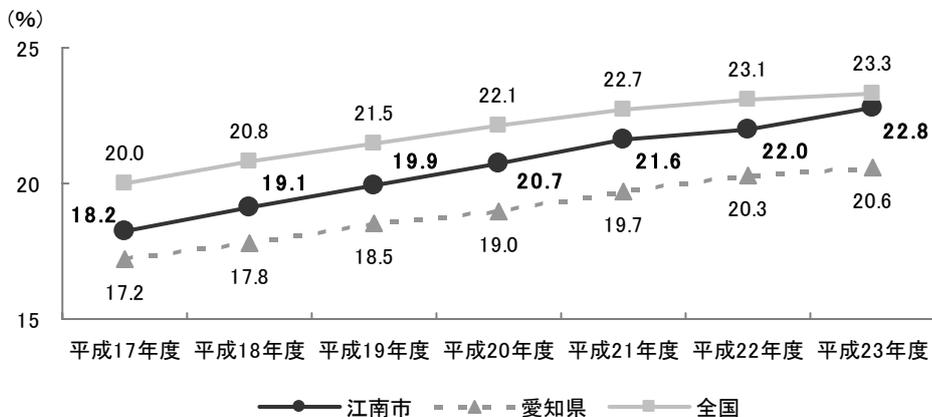
図 5歳階級別人口の推移



資料：住民基本台帳（各年度3月31日現在）
 ※昭和22（1947）年から昭和24（1949）年に生まれた世代を「団塊の世代」、昭和46（1971）年から昭和49（1974）年に生まれた世代を「団塊ジュニア」と呼びます。平成23（2011）年時点で団塊の世代は62～64歳、団塊ジュニアは37～40歳の人が該当します。

高齢化率は、愛知県より高く、全国より低い値で推移しています。

図 高齢化率の推移（愛知県、全国との比較）



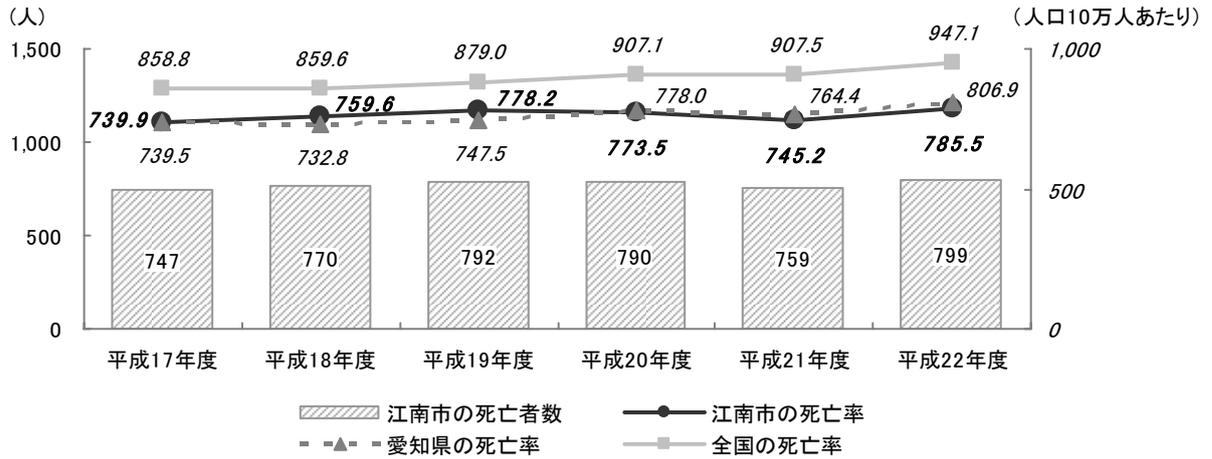
資料：江南市は「住民基本台帳」（各年度3月31日現在）、愛知県は愛知県県民生活部統計課「あいちの人口」（各年度10月1日現在）、全国は総務省統計局「人口推計」（各年度10月1日現在）

(2) 死亡の状況

死亡者数は、およそ740～800人で推移しています。

死亡率（人口10万人あたり）は、全国よりも低く、愛知県とほぼ同じ値で推移しています。

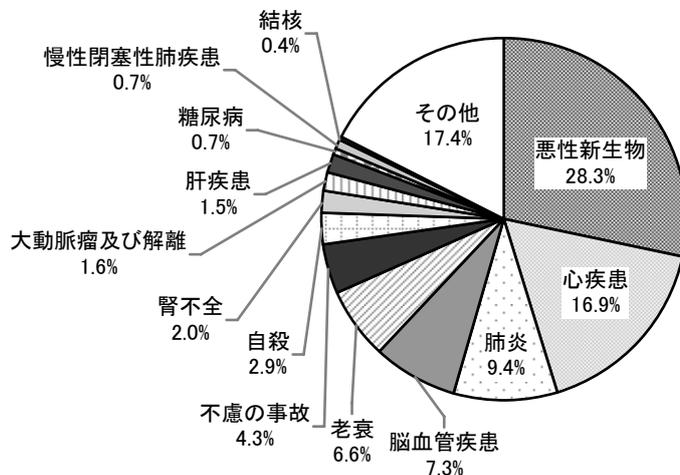
図 死亡者数と死亡率（人口10万人あたり）の推移（愛知県、全国との比較）



資料：江南市の死亡者数は、愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」、死亡率の分母となる人口は「住民基本台帳」。愛知県は愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」。全国は厚生労働省「人口動態統計」。

平成22年度の死因別割合をみると、「悪性新生物」が死因の約3割を占めています。次いで、「心疾患」が16.9%、「肺炎」が9.4%、「脳血管疾患」が7.3%となっています。

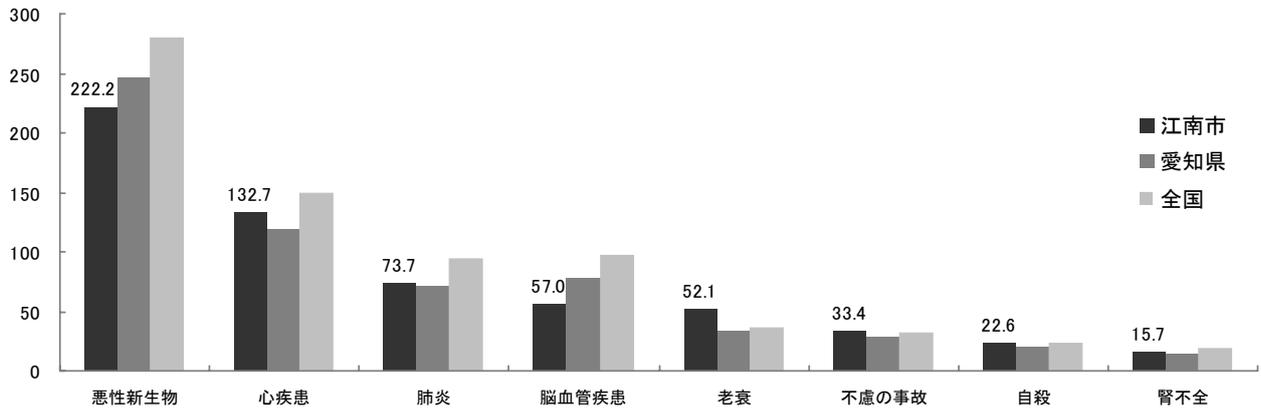
図 平成22年度の死因別割合



資料：愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」

死因別死亡率（人口 10 万人あたり）をみると、死因別割合が高い「悪性新生物」「心疾患」「肺炎」「脳血管疾患」は全国よりも低く、「脳血管疾患」については愛知県と比較しても低くなっています。一方、「老衰」は全国、愛知県よりも高くなっています。

図 平成 22 年度の死因別死亡率（人口 10 万人あたり）（愛知県、全国との比較）



資料：江南市の死亡者数は、愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」、死亡率の分母となる人口は「住民基本台帳」。愛知県は、愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」。全国は、厚生労働省「人口動態統計」。

表 主要死因別死亡者数の推移（愛知県、全国との比較）

【江南市】

(人)

	総数		悪性新生物		心疾患		肺炎		脳血管疾患		老衰	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	747	739.9	222	219.9	115	113.9	76	75.3	73	72.3	46	45.6
平成 18 年度	770	759.6	219	216.0	126	124.3	72	71.0	81	79.9	40	39.5
平成 19 年度	792	778.2	235	230.9	130	127.7	85	83.5	80	78.6	37	36.4
平成 20 年度	790	773.5	242	237.0	131	128.3	94	92.0	69	67.6	23	22.5
平成 21 年度	759	745.2	247	242.5	109	107.0	77	75.6	60	58.9	44	43.2
平成 22 年度	799	785.5	226	222.2	135	132.7	75	73.7	58	57.0	53	52.1

	不慮の事故		自殺		腎不全		大動脈瘤及び解離		肝疾患		糖尿病	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	39	38.6	22	21.8	17	16.8	6	5.9	6	5.9	9	8.9
平成 18 年度	24	23.7	25	24.7	11	10.9	12	11.8	7	6.9	11	10.9
平成 19 年度	22	21.6	20	19.7	16	15.7	11	10.8	12	11.8	9	8.8
平成 20 年度	28	27.4	17	16.6	14	13.7	10	9.8	3	2.9	13	12.7
平成 21 年度	17	16.7	28	27.5	10	9.8	15	14.7	5	4.9	5	4.9
平成 22 年度	34	33.4	23	22.6	16	15.7	13	12.8	12	11.8	6	5.9

	慢性閉塞性肺疾患		結核		高血圧性疾患		喘息	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	7	6.9	2	2.0	1	1.0	2	2.0
平成 18 年度	12	11.8	2	2.0	1	1.0	0	0.0
平成 19 年度	11	10.8	2	2.0	3	2.9	1	1.0
平成 20 年度	5	4.9	5	4.9	1	1.0	1	1.0
平成 21 年度	9	8.8	1	1.0	1	1.0	3	2.9
平成 22 年度	6	5.9	3	2.9	0	0.0	0	0.0

資料：死亡数は愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」、分母となる人口は「住民基本台帳」

※率は人口 10 万人あたり

【愛知県】

(人)

	総数		悪性新生物		心疾患		肺炎		脳血管疾患		老衰	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	52,536	739.5	15,876	223.5	8,767	123.4	4,862	68.4	6,196	87.2	1,431	20.1
平成 18 年度	52,294	732.8	15,929	223.2	8,294	116.2	4,989	69.9	6,097	85.4	1,334	18.7
平成 19 年度	53,618	747.5	16,570	231.0	8,099	112.9	5,225	72.8	5,859	81.7	1,626	22.7
平成 20 年度	56,036	778.0	17,049	236.7	8,419	116.9	5,315	73.8	6,011	83.5	1,804	25.0
平成 21 年度	55,189	764.4	16,888	233.9	8,047	111.5	5,040	69.8	5,548	76.8	2,063	28.6
平成 22 年度	58,477	806.9	17,814	245.8	8,642	119.2	5,190	71.6	5,677	78.3	2,383	32.9

	不慮の事故		自殺		腎不全		大動脈瘤及び脳解離		肝疾患		糖尿病	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	2,064	29.1	1,466	20.6	926	13.0	618	8.7	732	10.3	586	8.2
平成 18 年度	2,027	28.4	1,455	20.4	1,037	14.5	601	8.4	704	9.9	538	7.5
平成 19 年度	1,991	27.8	1,415	19.7	952	13.3	624	8.7	737	10.3	589	8.2
平成 20 年度	1,987	27.6	1,441	20.0	1,005	14.0	752	10.4	768	10.7	623	8.6
平成 21 年度	1,913	26.5	1,512	20.9	989	13.7	744	10.3	720	10.0	648	9.0
平成 22 年度	2,094	28.9	1,434	19.8	1,070	14.8	789	10.9	736	10.2	623	8.6

	慢性閉塞性肺疾患		結核		高血圧性疾患		喘息	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	586	8.2	129	1.8	203	2.9	148	2.1
平成 18 年度	559	7.8	116	1.6	214	3.0	101	1.4
平成 19 年度	589	8.2	123	1.7	238	3.3	93	1.3
平成 20 年度	594	8.2	139	1.9	219	3.0	86	1.2
平成 21 年度	628	8.7	124	1.7	220	3.0	80	1.1
平成 22 年度	689	9.5	153	2.1	235	3.2	57	0.8

資料：愛知県健康福祉部医療福祉計画課「愛知県衛生年報」

※率は人口 10 万人あたり

【全国】

(人)

	総数		悪性新生物		心疾患		肺炎		脳血管疾患		老衰	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	1,083,796	858.8	325,941	258.3	173,125	137.2	107,241	85.0	132,847	105.3	26,360	20.9
平成 18 年度	1,084,450	859.6	329,314	261.0	173,024	137.2	107,242	85.0	128,268	101.7	27,764	22.0
平成 19 年度	1,108,334	879.0	336,468	266.9	175,539	139.2	110,159	87.4	127,041	100.8	30,734	24.4
平成 20 年度	1,142,407	907.1	342,963	272.3	181,928	144.4	115,317	91.6	127,023	100.9	35,975	28.6
平成 21 年度	1,141,865	907.5	344,105	273.5	180,745	143.7	112,004	89.0	122,350	97.2	38,670	30.7
平成 22 年度	1,197,012	947.1	353,499	279.7	189,360	149.8	118,888	94.1	123,461	97.7	45,342	35.9

	不慮の事故		自殺		腎不全		大動脈瘤及び脳解離		肝疾患		糖尿病	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	39,863	31.6	30,553	24.2	20,528	16.3	11,392	9.0	16,430	13.0	13,621	10.8
平成 18 年度	38,270	30.3	29,921	23.7	21,158	16.8	11,665	9.2	16,267	12.9	13,650	10.8
平成 19 年度	37,966	30.1	30,827	24.4	21,632	17.2	12,396	9.8	16,195	12.8	13,999	11.1
平成 20 年度	38,153	30.3	30,229	24.0	22,517	17.9	13,440	10.7	16,268	12.9	14,462	11.5
平成 21 年度	37,756	30.0	30,707	24.4	22,743	18.1	13,904	11.1	15,969	12.7	13,987	11.1
平成 22 年度	40,732	32.2	29,554	23.4	23,725	18.8	15,209	12.0	16,216	12.8	14,422	11.4

	慢性閉塞性肺疾患		結核		高血圧性疾患		喘息	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成 17 年度	14,416	11.4	2,296	1.8	5,835	4.6	3,198	2.5
平成 18 年度	14,357	11.4	2,269	1.8	5,810	4.6	2,778	2.2
平成 19 年度	14,907	11.8	2,194	1.7	6,144	4.9	2,540	2.0
平成 20 年度	15,520	12.3	2,220	1.8	6,264	5.0	2,348	1.9
平成 21 年度	15,359	12.2	2,159	1.7	6,223	4.9	2,139	1.7
平成 22 年度	16,293	12.9	2,129	1.7	6,760	5.3	2,065	1.6

資料：厚生労働省「人口動態統計」

※率は人口 10 万人あたり

2

健（検）診の受診状況

(1) 特定健康診査の受診状況

国民健康保険に加入している40～74歳の人々の特定健康診査の受診率は、44～46%台で推移しており、愛知県、全国よりも高い値となっています。しかし、健診の結果、メタボリック・シンドローム（内臓脂肪症候群）に該当、もしくは、その予備群と判定された人に対して行う特定保健指導の利用率は、愛知県、全国よりも低くなっています。また、特定保健指導の対象率は愛知県、全国とほぼ同じ値となっています。

表 特定健康診査の受診者数の推移

			平成20年度	平成21年度	平成22年度
江南市	対象者	人	17,503	17,709	17,777
	受診者	人	7,847	8,213	8,114

図 特定健康診査の受診率の推移（愛知県、全国との比較）

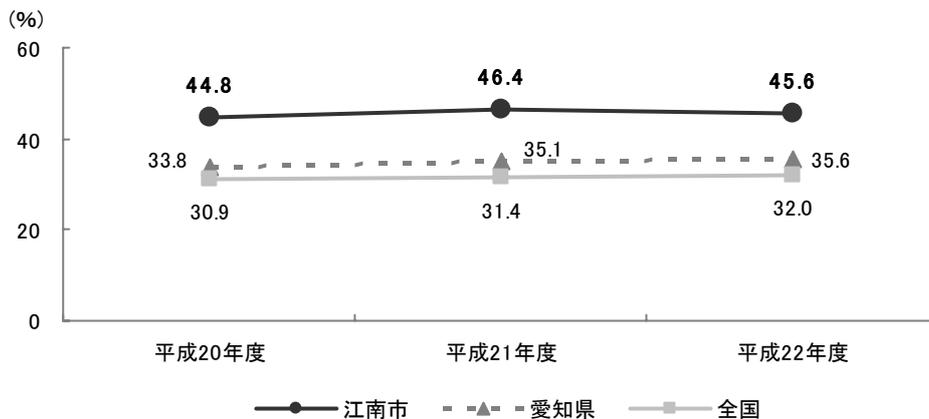


図 特定保健指導の利用率の推移

（愛知県、全国との比較）

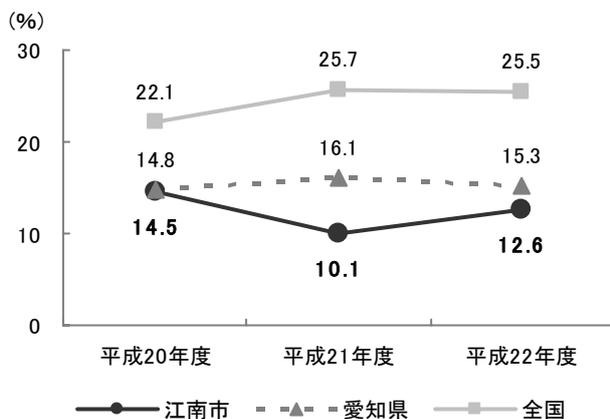
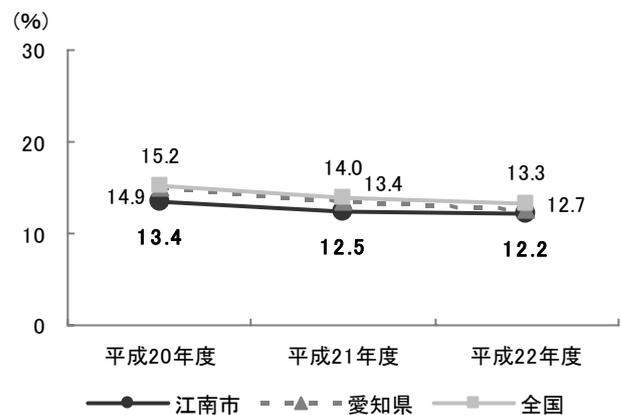


図 特定保健指導の対象率の推移

（愛知県、全国との比較）



資料：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」

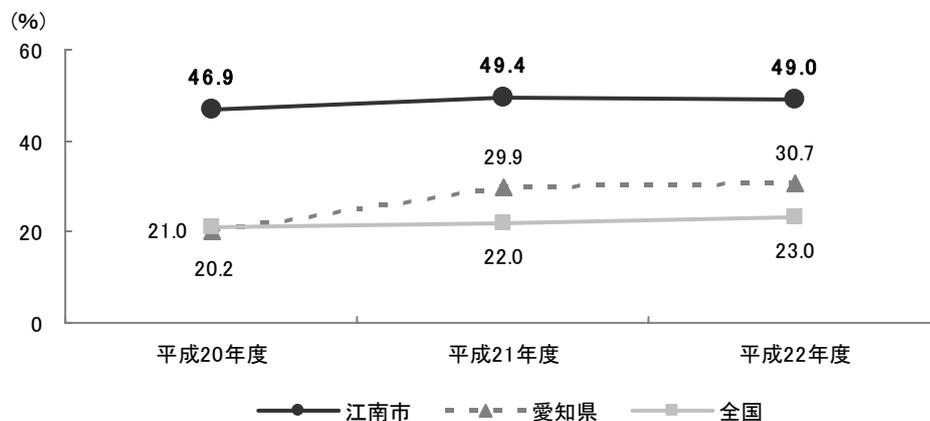
(2) 後期高齢者健康診査の受診状況

後期高齢者健康診査の受診率は、46～49%台で推移しており、特定健康診査同様、愛知県、全国よりも高い値となっています。

表 後期高齢者健康診査の受診者数の推移

			平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
江南市	対象者	人	8,501	8,924	9,482
	受診者	人	3,990	4,411	4,650

図 後期高齢者健康診査の受診率の推移（愛知県、全国との比較）



資料：愛知県高齢者医療広域連合

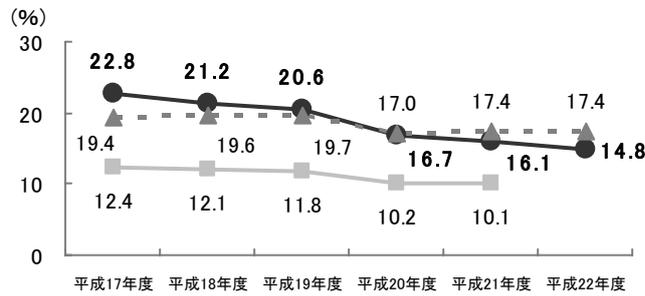
(3) がん検診の受診状況

各がん検診の受診率をみると、「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」は平成 17 年度に比べ 8%以上低下しています。「子宮がん検診」は平成 17 年度の 15.1%から平成 20 年度の 7.4%へと低下しましたが、平成 21 年度、22 年度は 12%台に回復しています。「乳がん検診」は増加傾向になっています。「前立腺がん検診」は平成 22 年度が最も高く、1.4%となっています。

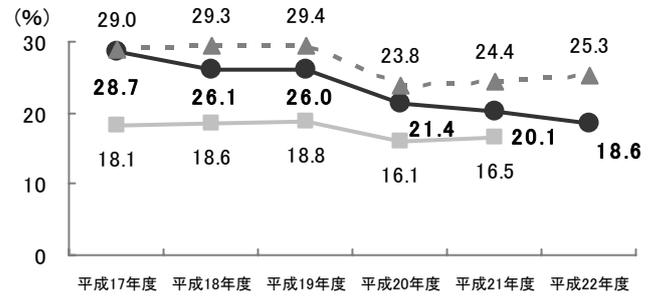
愛知県、全国との比較をみると、「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」は全国より高い値で推移していますが、「子宮がん検診」は低くなっています。また、「大腸がん検診」「肺がん検診」は愛知県よりも低くなっています。「乳がん検診（X線）」は愛知県、全国よりも低くなっています。

図 各がん検診の受診率の推移（愛知県、全国との比較）

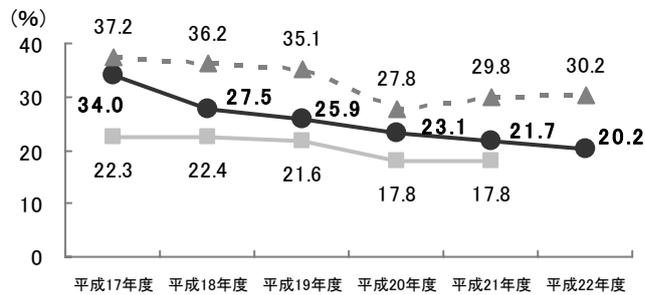
【胃がん】



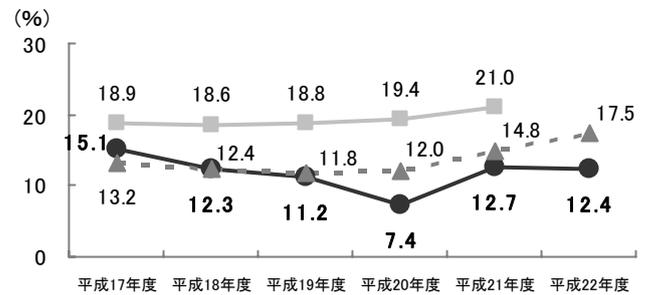
【大腸がん】



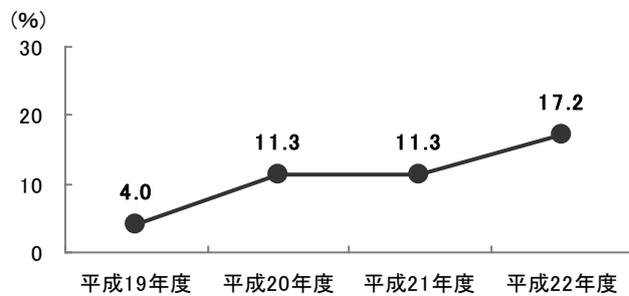
【肺がん】



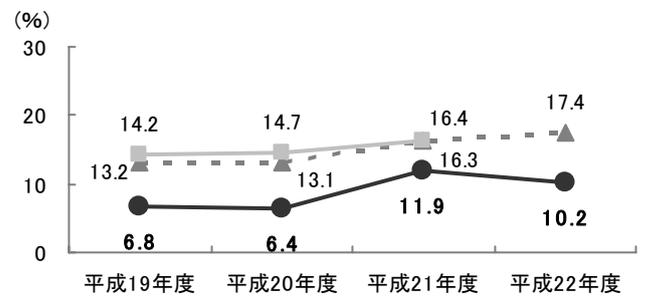
【子宮がん】



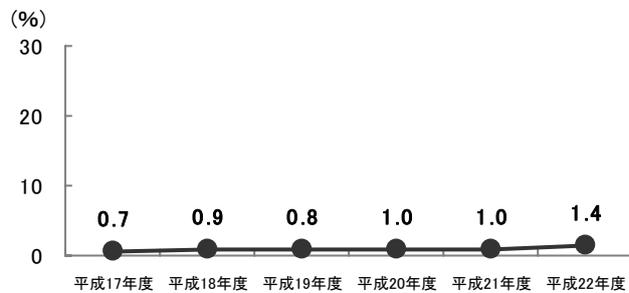
【乳がん（超音波）】



【乳がん（X線）】



【前立腺がん】



● 江南市 ▲ 愛知県 ■ 全国

資料：江南市は江南市健康づくり課、愛知県及び全国は「平成22年度各がん検診の結果報告」

3 歯の健康

(1) むし歯のある子の状況

むし歯のある1歳6か月児の割合は、1～2%台で、ほぼ横ばいで推移しています。むし歯のある3歳児の割合は減少傾向にあります。いずれも愛知県とほぼ同様の推移をしています。

表 むし歯のある幼児の推移

			平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
1歳6か月児	対象者	人	991	940	914	962	932	866	828
	むし歯のある子	人	13	16	20	22	15	21	9
3歳児	対象者	人	964	970	1,005	919	965	941	927
	むし歯のある子	人	172	166	189	138	145	141	123

図 むし歯のある1歳6か月児の割合の推移

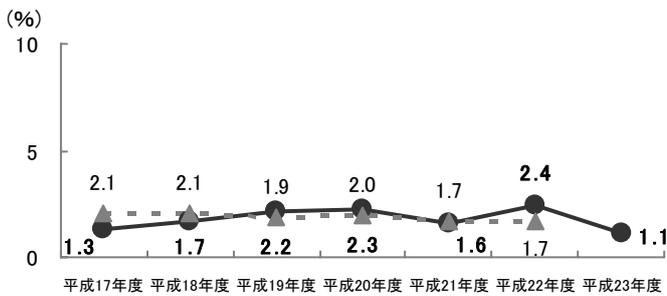
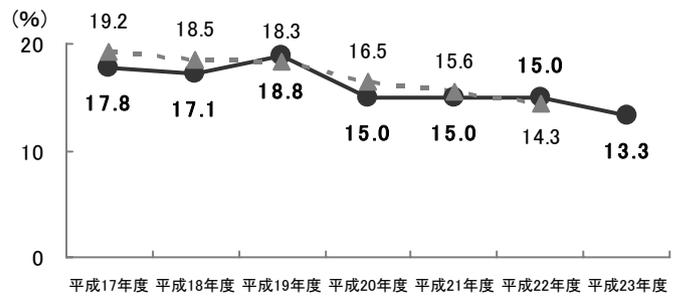


図 むし歯のある3歳児の割合の推移



● 江南市 ▲ 愛知県

資料：江南市は江南市健康づくり課、愛知県は江南保健所

むし歯のある小学生の割合は、学年が上がるほど高くなっており、平成 23 年度の小学 6 年生は小学 1 年生のおよそ 7 倍の割合となっています。しかし、推移をみると、平成 22 年度以降小学 4～6 年生の割合は低下しており、改善傾向がみられます。

愛知県と比較すると、平成 21 年度の小学 5～6 年生は愛知県より 5%ほど高くなっていますが、平成 23 年度では、小学 6 年生はほぼ同じ値、小学 5 年生は 3%ほど低くなっています。小学 1～4 年生は愛知県とほぼ同じ推移となっています。

表 むし歯のある小学生の推移

				平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
小学 1 年生	江南市	受診者	人	1,061	1,007	971	992
		むし歯のある子	人	75	50	27	35
		むし歯のある子の割合	%	7.1	5.0	2.8	3.5
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	3.4	3.5	3.2	2.5
小学 2 年生	江南市	受診者	人	1,119	1,060	998	966
		むし歯のある子	人	88	96	84	56
		むし歯のある子の割合	%	7.9	9.1	8.4	5.8
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	9.7	7.7	7.0	6.9
小学 3 年生	江南市	受診者	人	1,038	1,130	1,074	994
		むし歯のある子	人	148	155	118	122
		むし歯のある子の割合	%	14.3	13.7	11.0	12.3
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	15.3	13.5	11.4	11.0
小学 4 年生	江南市	受診者	人	1,048	1,032	1,131	1,075
		むし歯のある子	人	237	197	180	168
		むし歯のある子の割合	%	22.6	19.1	15.9	15.6
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	21.1	18.7	17.2	15.1
小学 5 年生	江南市	受診者	人	1,027	1,057	1,032	1,139
		むし歯のある子	人	268	303	220	197
		むし歯のある子の割合	%	26.1	28.7	21.3	17.3
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	27.7	23.3	21.7	20.6
小学 6 年生	江南市	受診者	人	1,025	1,025	1,056	1,030
		むし歯のある子	人	335	347	297	259
		むし歯のある子の割合	%	32.7	33.9	28.1	25.1
	愛知県	むし歯のある子の割合	%	32.8	28.7	26.2	24.6

資料：江南保健所

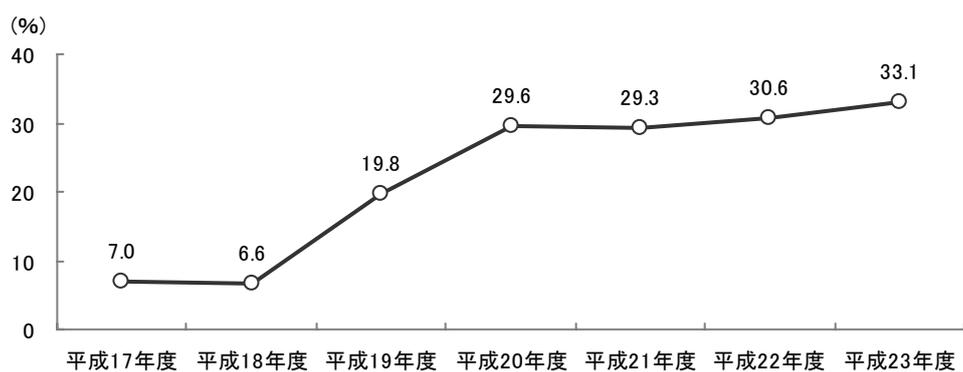
(2) 妊婦歯科健診の受診状況

妊婦歯科健診の受診率は、医療機関での個別健診を開始した平成19年度から平成20年度にかけて急激に伸びています。その後は横ばいで推移し、平成23年度は33.1%となっています。

表 妊婦歯科健診受診者数の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	880	910	941	945	830	855	825
受診者	人	62	60	186	280	243	262	273

図 妊婦歯科健診受診率の推移



資料：江南市健康づくり課

(3) 節目年齢歯科健診の受診状況

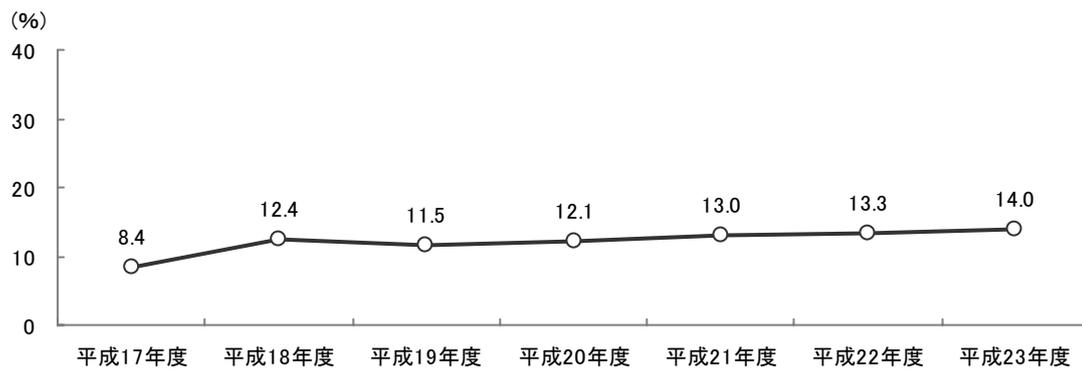
節目年齢歯科健診は、当該年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳になる方を対象に行っており、受診率は増加傾向にあります。平成23年度はおよそ7人に1人（14.0%）が受診しています。

表 節目年齢歯科健診受診者数の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	4,831	4,852	5,674	9,778	9,668	9,319	10,705
受診者	人	408	602	651	1,182	1,261	1,235	1,503

※平成17年度は40、50、60、70歳を対象とし、平成20年度に45、55、65歳の対象者を追加拡大、さらに平成23年度に75歳の対象者を追加拡大した。

図 節目年齢歯科健診受診率の推移



資料：江南市健康づくり課

4 母子保健の状況

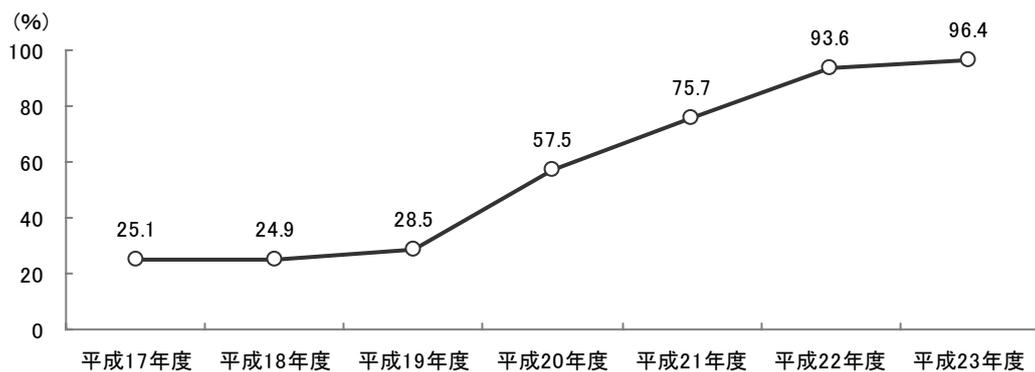
(1) 妊娠届出時期の状況

妊娠届出書の提出者数は、平成20年度の945人をピークに、その後は800人台となっています。そのうち、満11週以下で提出した人の割合をみると、平成19年度までは2割台で推移していますが、妊婦健康診査公的補助の拡大に伴い増加を続け、平成23年度では96.4%となっています。

表 妊娠届出書を満11週以下に提出した人数の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
提出者	人	880	910	941	945	830	855	825
満11週以下	人	221	227	268	543	628	800	795

図 妊娠届出書を満11週以下に提出した人の割合



資料：江南市健康づくり課

(2) 妊娠中の喫煙・飲酒の状況

妊娠中の喫煙者は4%前後、飲酒者は0.7~2.1%の間で推移しており、いずれも0%（0人）ではありません。

表 妊娠中の喫煙者数・飲酒者数等の推移

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	910	941	945	830	855	825
喫煙者	人	36	33	39	40	36	30
喫煙者の割合	%	4.0	3.5	4.1	4.8	4.2	3.6
飲酒者	人	15	10	7	16	8	17
飲酒者の割合	%	1.6	1.1	0.7	1.9	0.9	2.1

資料：江南市健康づくり課

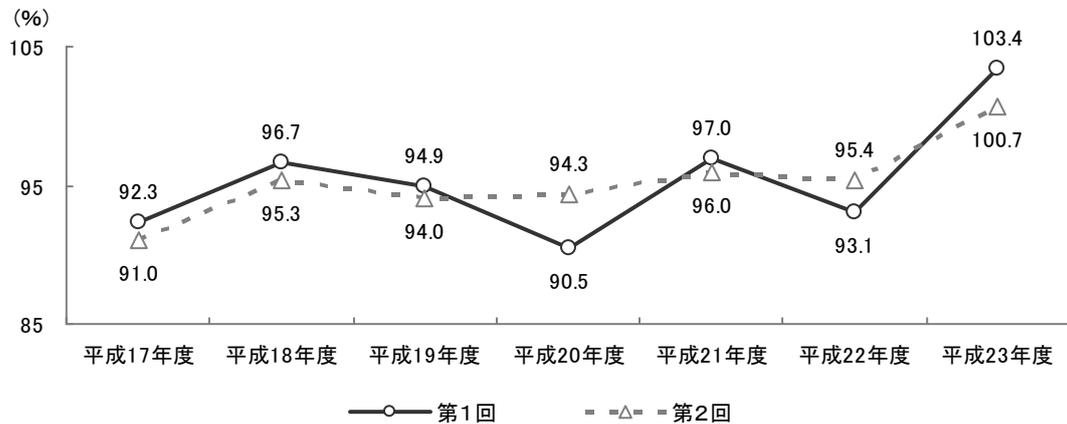
(3) 妊婦健康診査の受診状況

妊婦健康診査の受診率をみると、第1回、第2回ともに90%以上で推移しています。

表 妊婦健康診査の受診者数の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	880	910	941	945	830	855	825
第1回受診者	人	812	880	893	855	805	796	853
第2回受診者	人	801	867	885	891	797	816	831

図 妊婦健康診査の受診率の推移



資料：江南市健康づくり課

(4) フレッシュ・パパママ教室への参加状況

フレッシュ・パパママ教室の参加率は、20%前後で推移しています。

表 フレッシュ・パパママ教室への参加者数等の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	880	910	941	945	830	855	825
参加者	人	168	187	174	179	170	177	178
参加率	%	19.1	20.5	18.5	18.9	20.5	20.7	21.6

資料：江南市健康づくり課

※参加者は妊婦の人数

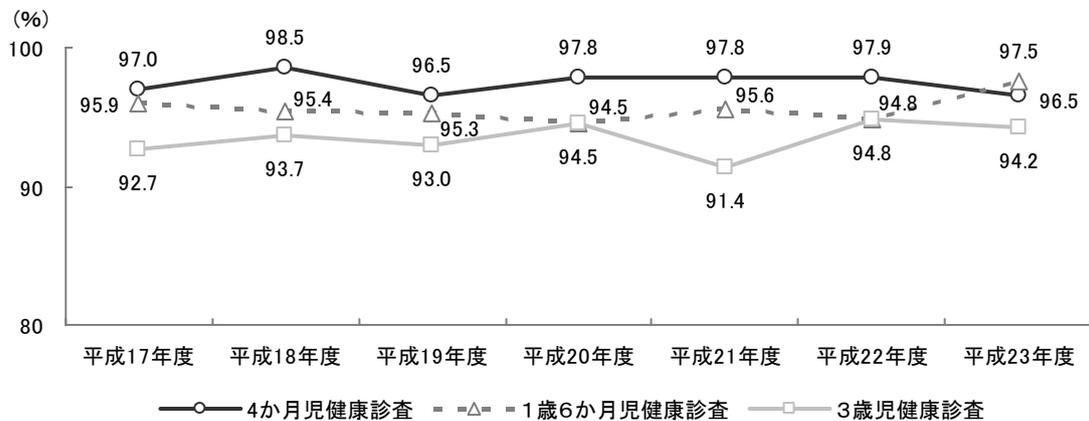
(5) 乳幼児健康診査の受診状況

乳幼児健康診査の受診率は、いずれも90%以上で推移していますが、3歳児健康診査は、ほとんどの年度で、4か月児、1歳6か月児健康診査に比べ受診率が低くなっています。

表 乳幼児健康診査の受診者数の推移

			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4か月児 健康診査	対象者	人	869	908	939	914	898	800	821
	受診者	人	843	894	906	894	878	783	792
1歳6か月児 健康診査	対象者	人	991	940	914	962	932	866	828
	受診者	人	950	897	871	909	891	821	807
3歳児 健康診査	対象者	人	964	970	1,005	919	965	941	927
	受診者	人	894	909	935	868	882	892	873

図 乳幼児健康診査の受診率の推移



資料：江南市健康づくり課

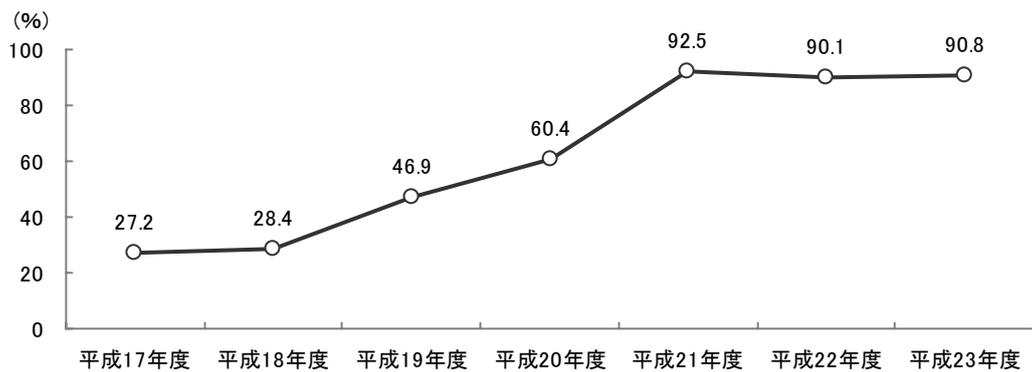
(6) 赤ちゃん訪問の利用状況

生後4か月未満の赤ちゃんとその保護者の家庭を保健師等が訪問する赤ちゃん訪問の利用率は、平成18年度までは20%台で推移していますが、その後増加し、平成21年度以降は90%台となっています。これは、平成19年度に全戸訪問事業が開始され、平成21年度に完全実施となったためです。

表 赤ちゃん訪問の利用者数の推移

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
対象者	人	869	908	910	914	839	815	833
利用者	人	236	258	427	552	776	734	756

図 赤ちゃん訪問の利用率の推移



資料：江南市健康づくり課

5

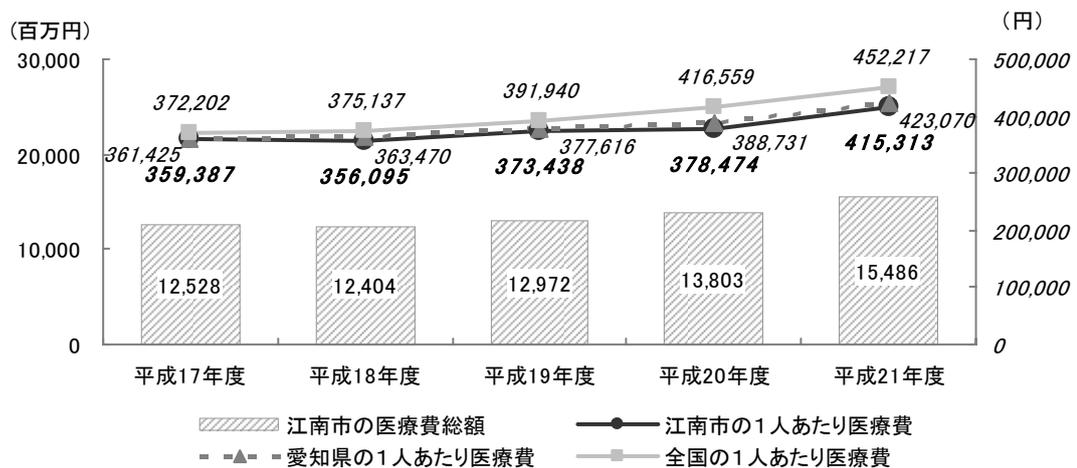
医療費・要介護認定者の状況

(1) 医療費の状況

本市の医療費の総額をみると、平成21年度は154億8,600万円となっており、5年間のうちで最も少ない平成18年度と比べると約1.25倍となっています。

1人あたりの医療費は、愛知県、全国より低い額で推移していますが、平成18年度の約35万6千円から平成21年度の約41万5千円へと増加しています。

図 国民健康保険の医療費の推移（愛知県、全国との比較）



資料：「国民健康保険の実態」「国民健康保険事業年報」「後期高齢者事業年報」「広域連合事業年報」

※平成17～19年は国民健康保険事業及び老人保健事業の合算、平成20～21年は国民健康保険事業及び後期高齢者医療制度に基づく保険事業の合算

(2) 要介護認定者の状況

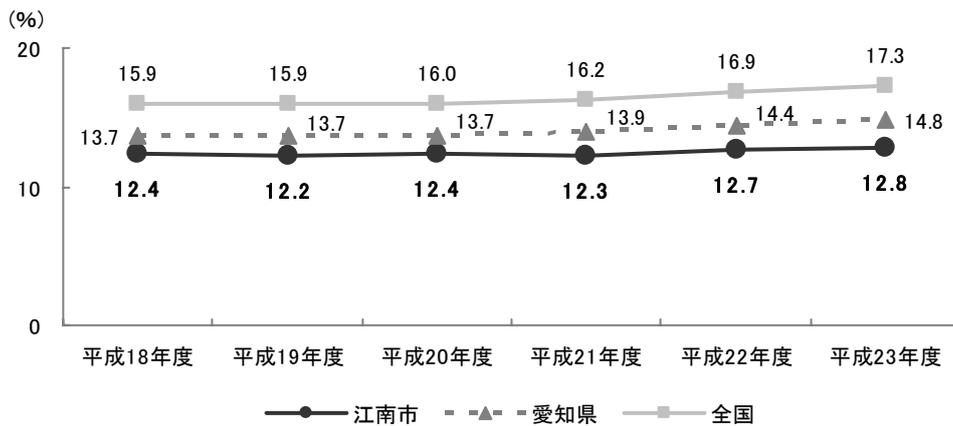
要介護認定者数は、65歳以上人口の増加に伴って増加しており、平成23年度は2,941人と平成18年度から554人増加しています。

要介護認定率は、12%台で推移しており、愛知県、全国と比べて低い値となっています。

表 65歳以上の要介護認定者数の推移

			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
江南市	65歳以上人口	人	19,281	20,151	21,039	21,891	22,329	23,036
	要介護認定者	人	2,387	2,455	2,611	2,699	2,829	2,941

図 65歳以上の要介護認定率の推移（愛知県、全国との比較）



資料：江南市、愛知県、全国ともに厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年度3月末現在）

6

第1次計画の評価

平成16年3月に策定した第1次計画では、国の健康日本21の目標を基本とする目標数値を設定しています。

平成23年度に実施したアンケート調査は、計画の目標数値を評価・検証する目的を含んでおり、この節では目標数値と調査結果を比較し、評価・検証しています。

評価は「○ 目標値に達している」「→ 目標値には達していないがH14より改善がみられる」「× H14と同じまたは改善がみられない」で表します。

(1) 栄養・食生活

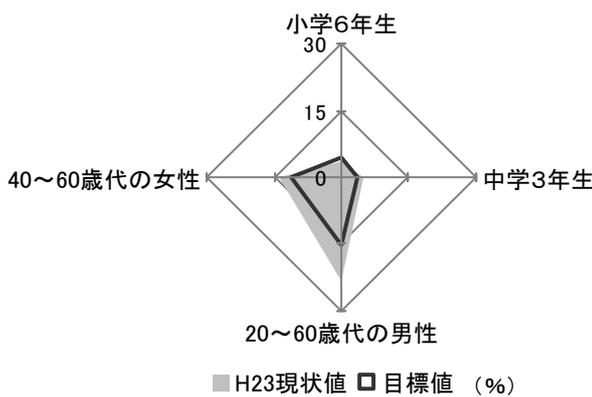
① 肥満（ローレル指数※160以上、BMI※25.0以上）の人の減少

肥満減少の目標指標として、ローレル指数160以上の小学生の減少、BMI 25.0以上の中学生及び成人の減少を掲げてきました。

江南市では、独自の目標としてローレル指数160以上の小学生の減少をめざしてきたところ、今回の調査では目標を達成しています。

中学生以上では、BMI 25.0以上の割合の減少をめざしてきました。20～60歳代男性、40～60歳代女性では、目標には達しないまでも肥満が減少しています。中学生については、やや増加しています。

単位 (%)



対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	4.9	4.1	4.4以下	3.6	○
中学3年生	4.2	5.3	3.7以下	5.0	×
20～60歳代の男性	25.0	23.4	15.0以下	23.5	→
40～60歳代の女性	18.3	13.4	11.0以下	14.0	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向

※小学6年生は「太りすぎ（ローレル指数160以上）」の割合

中学3年生、20～60歳代の男性、40～60歳代の女性はBMI判定が「肥満（BMI 25.0以上）」の割合

用語の説明

※ローレル指数は、学童期の発育状態を知る目安として使われています。100以下はやせすぎ、101～115はやせぎみ、116～144は標準、145～159は太りすぎ、160以上は太りすぎとなります。

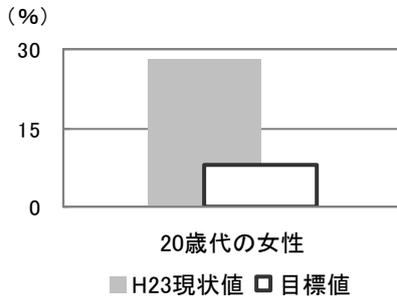
計算式：ローレル指数＝体重（kg）÷身長（cm）³×10⁷

※BMI（Body Mass Index）は、以下の計算式で算出される体格指数です。日本肥満学会の判定基準では、22が標準、18.5未満ではやせ、25.0以上では肥満となります。

計算式：BMI＝体重kg／（身長m×身長m）

② やせ（BMI 18.5未満）の人の減少

20歳代女性のやせ（BMI 18.5未満）の割合は増加しています。



単位 (%)

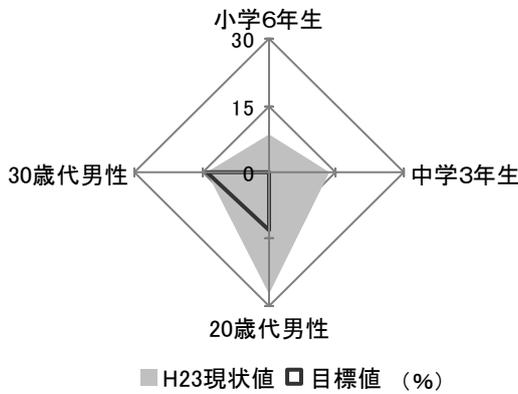
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
20歳代の女性	15.2	22.7	8.0以下	28.1	×

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※BMI判定が「やせ（18.5未満）」の割合

③ 朝食を欠食する人の減少

朝食を食べない日がある人の割合については、30歳代男性では目標を達成しています。小学生や中学生では減少しており、改善に向かっていますが、20歳代男性ではほとんど改善されていません。

単位 (%)

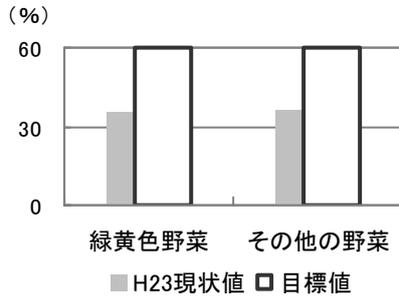


対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	12.1	7.9	0.0	8.7	→
中学3年生	18.5	10.5		13.3	→
20歳代男性	25.6	38.2	13.0以下	27.3	×
30歳代男性	27.0	27.6	14.0以下	14.0	○

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※朝食を週のうち1日でも欠食している人の割合

④ 野菜を毎日摂取する人の増加

野菜を毎日摂取する人の割合は、ほとんど変化していません。



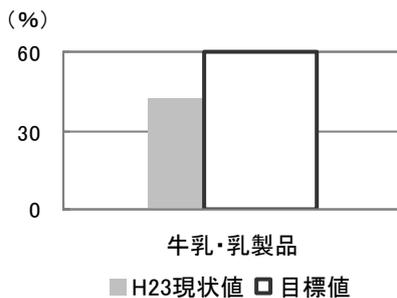
単位 (%)

対象者		1次計画			2次計画	評価
		H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
緑黄色野菜	青年～高年期	32.3	34.2	60.0以上	35.4	→
その他の野菜	青年～高年期	33.1	37.2		36.5	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※それぞれ「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合

⑤ カルシウムに富む食品を毎日摂取する人の増加

牛乳・乳製品を毎日摂取する人の割合は、ほとんど変化していません。



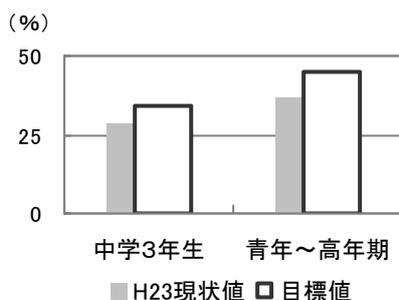
単位 (%)

対象者		1次計画			2次計画	評価
		H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
牛乳・乳製品	青年～高年期	41.2	43.9	60.0以上	42.2	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※牛乳・乳製品を「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合

⑥ 外食時に栄養成分表示を参考にする人の増加

外食時に栄養成分表示を参考にする人は、目標には達していませんが増加しています。



単位 (%)

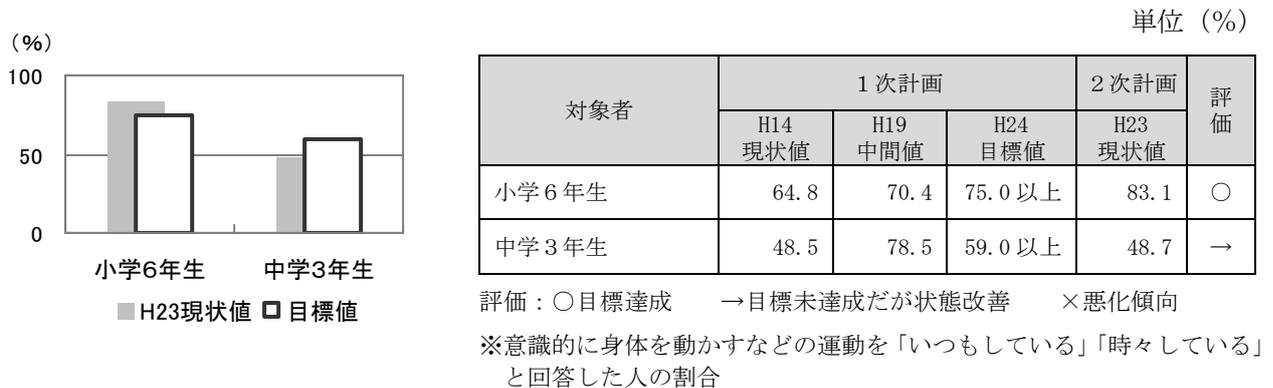
対象者		1次計画			2次計画	評価
		H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
中学3年生		17.0	20.0	34.0以上	28.2	→
青年～高年期		22.3	26.7	45.0以上	36.8	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※外食時に栄養成分表示を「参考にした」と回答した人を全体の人数で除いた割合

※青年～高年期は16歳以上の対象者（一般市民）です。

(2) 身体活動・運動

- ① 学校の授業以外で意識的に身体を動かすなどの運動をする児童・生徒の増加
小学生では、学校の授業以外で運動している割合が増加し、目標を達成しています。中学生では、ほとんど変化していません。



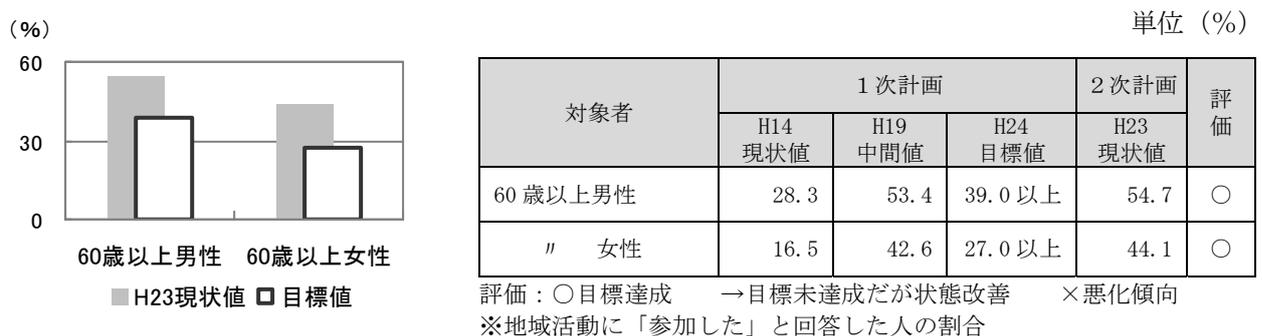
- ② 運動習慣のある人の増加

青年から高年期の一般市民における運動習慣のある人の割合は、目標には達していませんが、男女とも増加しています。



- ③ 地域活動に参加している人の増加

60歳以上で地域活動に参加している人の割合は、男女とも増加しており、目標を達成しています。

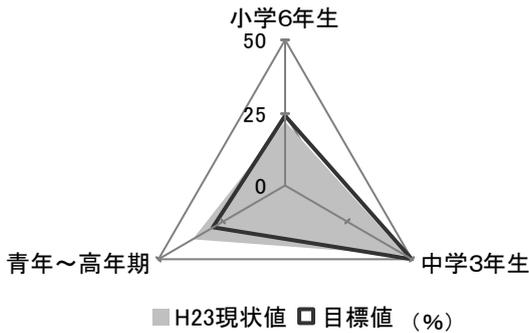


(3) 休養・こころの健康づくり

① 睡眠による休養が十分にとれていない人の減少

小学生、中学生については、睡眠による休養が十分でない人が減少し、目標を達成しています。青年～高年期の一般市民では、睡眠による休養が十分でない人が増加し、状況が悪化しています。

単位 (%)



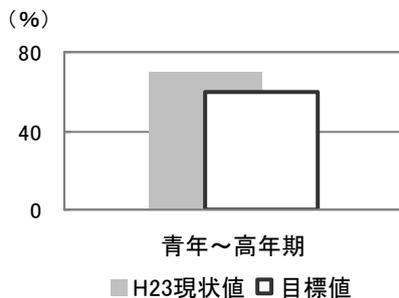
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	26.6	21.7	24.0以下	22.1	○
中学3年生	54.6	56.7	50.0以下	47.5	○
青年～高年期	31.6	33.8	29.0以下	36.5	×

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※いつもの睡眠時間で休養が「あまり十分でない」「まったく十分でない」と回答した人の割合

② ストレスを感じたことのある人の減少

青年から高年期の一般市民でストレスを感じている人は増加しています。

単位 (%)



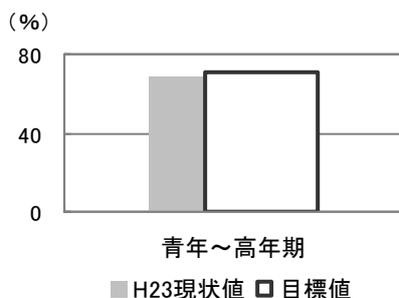
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期	64.5	65.9	60.0以下	70.2	×

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※最近1か月間に、ストレスを「おおいに感じた」「多少感じた」と回答した人の割合

③ 趣味がある人の増加

青年から高年期の一般市民で趣味がある人は増加しています。

単位 (%)



対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期	60.5	60.4	71.0以上	68.8	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※趣味を「もっている」と回答した人の割合

④ 地域活動に参加している人の増加 (★再掲)

(6-(2)-③に同じ)

(4) たばこ

① 未成年の人の喫煙をなくす

未成年（16歳～19歳）の喫煙者は、男女ともに減少していますが、目標値（0%）には達していません。



評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
 小学生、中学生のH23年調査では把握していない。
 ※たばこを「吸っている」「以前吸っていたがやめた」と回答した人の割合

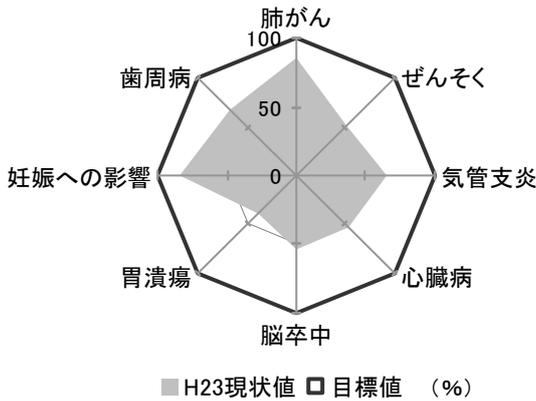


② 喫煙の影響を受ける疾患についての十分な知識の普及

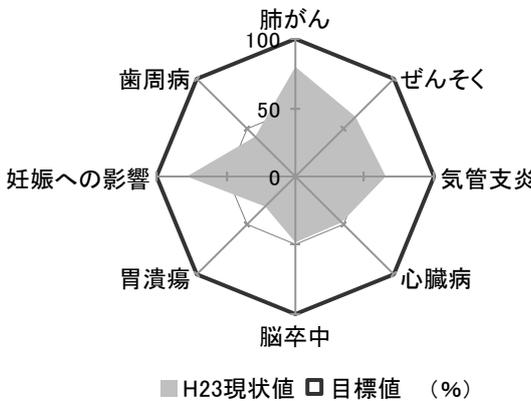
たばこが及ぼす病気への影響については、100%という目標には及ばないものの、全体的に認識が高まっています。

単位 (%)

【中学3年生】



【青年～高年期】



対象者	1次計画			2次計画	評価	
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値		
肺がん	中学3年生	87.5	83.1	100.0	85.7	×
	青年～高年期	69.7	72.4		79.8	→
ぜんそく	中学3年生	49.3	48.0		50.8	→
	青年～高年期	44.4	49.7		60.4	→
気管支炎	中学3年生	68.4	59.0		65.3	×
	青年～高年期	50.7	54.4		64.9	→
心臓病	中学3年生	41.6	46.1		54.3	→
	青年～高年期	30.2	39.1		45.8	→
脳卒中	中学3年生	46.2	46.7		54.0	→
	青年～高年期	26.5	40.6		48.0	→
胃潰瘍	中学3年生	29.6	37.6		39.8	→
	青年～高年期	18.3	22.7		30.0	→
妊娠への影響、未熟児など	中学3年生	88.5	72.6	84.6	×	
	青年～高年期	61.2	66.1	77.7	→	
歯周病	中学3年生	50.4	57.4	68.3	→	
	青年～高年期	19.8	27.4	40.5	→	

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※それぞれ「喫煙でかかりやすくなる」と回答した人の割合

③ 分煙対策等を行っていない家庭の減少

分煙対策を行っていない家庭は、目標値(0%)には達しませんが、減少しています。

(%)



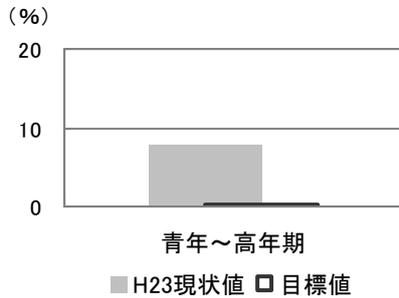
単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期	22.2	15.9	0.0	8.6	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※家庭での分煙対策が「何もしられていない」と回答した人の割合

④ 分煙対策等を行っていない職場の減少

分煙対策を行っていない職場は、目標値（0%）には達しません、減少しています。



単位 (%)

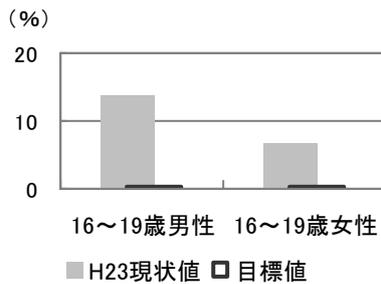
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期	24.5	14.4	0.0	7.9	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※職場での分煙対策が「何もしられていない」と回答した人の割合

(5) アルコール

① 未成年の人の飲酒をなくす

未成年（16歳～19歳）の飲酒は、男女ともに減少していますが、目標値（0%）には達していません。



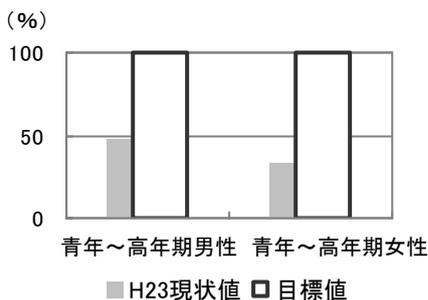
単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生男性	51.0	31.3	0.0		
中学3年生男性	62.0	40.3			
16～19歳男性	30.4	33.3		13.8	→
小学6年生女性	46.7	21.1			
中学3年生女性	65.7	37.1			
16～19歳女性	40.5	31.3		6.7	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
小学生、中学生のH23年調査では把握していない。
※16～19歳はお酒を「飲む」「以前飲んでしたがやめた」と回答した人の割合

② 節度ある適度な飲酒量の知識の普及

節度ある適度な飲酒量を知っている人は減少し、周知が進んでいない状況にあります。



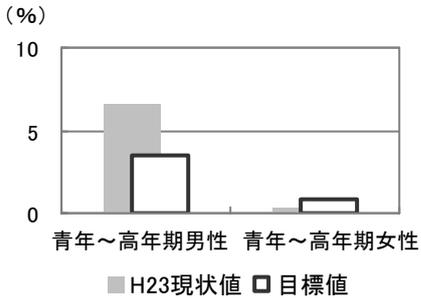
単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期男性	50.9	51.8	100.0	48.3	×
〃 女性	37.1	30.3		33.5	×

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※節度ある適度な飲酒について「知っている」と回答した人の割合

③ 多量に飲酒する人の減少

多量に飲酒する人は、女性では減少していますが、男性では増加しています。



単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
青年～高年期男性	4.4	4.3	3.5以下	6.6	×
〃 女性	1.2	0.9	0.9以下	0.4	○

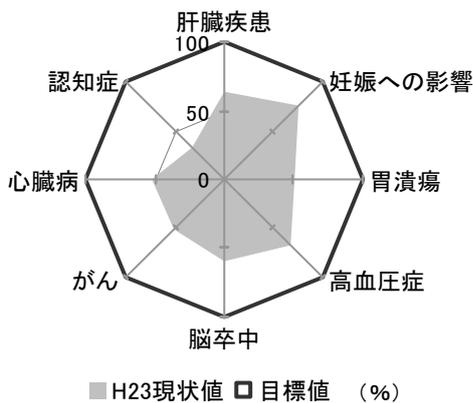
評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※1日の飲酒量が「3合以上」と回答した人の割合

④ 多量な飲酒の影響を受ける疾患についての知識の普及

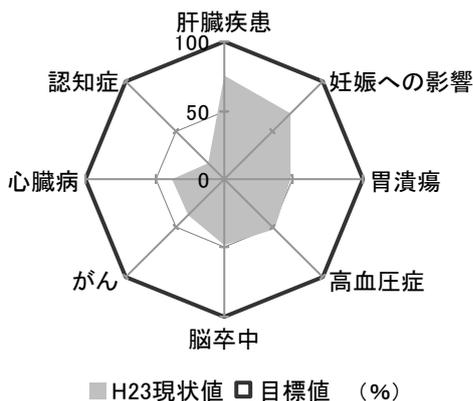
多量な飲酒が及ぼす病気への影響については、100%という目標には及ばないものの、全体的に認識が高まっています。

単位 (%)

【中学3年生】



【青年～高年期】



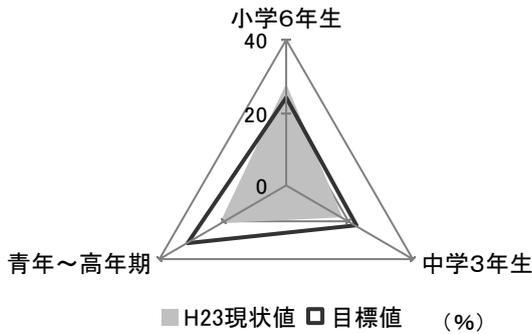
対象者		1次計画			2次計画	評価
		H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
肝臓疾患	中学3年生	59.7	61.3	100.0	64.4	→
	青年～高年期	70.6	73.2		75.7	→
妊娠への影響、未熟児など	中学3年生	67.2	59.5		76.0	→
	青年～高年期	52.7	56.3		67.7	→
胃潰瘍	中学3年生	48.5	48.2		50.2	→
	青年～高年期	42.4	39.4		47.6	→
高血圧症	中学3年生	62.2	60.7		68.3	→
	青年～高年期	42.4	43.6		51.9	→
脳卒中	中学3年生	46.4	50.4		59.5	→
	青年～高年期	36.0	38.7		48.5	→
がん	中学3年生	41.1	49.2		51.3	→
	青年～高年期	26.9	29.5		37.2	→
心臓病	中学3年生	40.3	45.2		52.6	→
	青年～高年期	26.6	30.7		38.1	→
認知症	中学3年生	22.4	33.1	33.5	→	
	青年～高年期	11.3	13.5	16.8	→	

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※それぞれ「過度な飲酒でかかりやすくなる」と回答した人の割合

(6) 歯の健康

① 歯みがきを1日3回以上する人の増加

歯みがきを1日3回以上する人は、小学生、中学生、一般市民ともに増加しています。小学生は目標を達成しています。



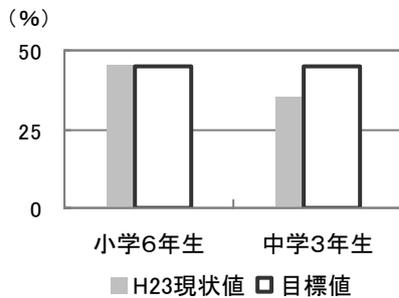
単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	11.8	17.6	24.0以上	27.9	○
中学3年生	10.8	10.4	22.0以上	17.7	→
青年～高年期	15.1	17.2	31.0以上	21.0	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※歯を「3回以上」みがくと回答した人の割合

② フッ化物配合の歯みがき剤を使用している児童・生徒の増加

フッ化物配合の歯みがき剤を使用している児童・生徒は増加しています。小学生は目標を達成しています。



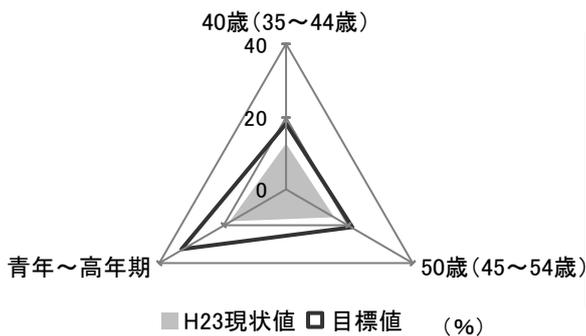
単位 (%)

対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	22.4	30.7	45.0以上	45.3	○
中学3年生	22.5	27.8	45.0以上	35.3	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※フッ化物配合の歯みがき剤を「いつも使っている」と回答した人の割合

③ 歯間清掃用具を使用している人の増加

歯間清掃用具を使用している人は、目標には達しませんが、わずかに増加しています。



単位 (%)

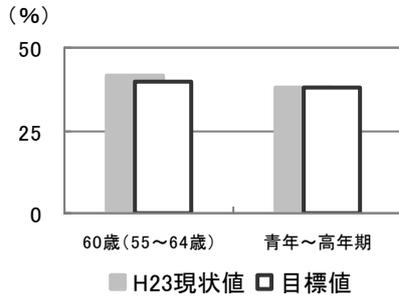
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
40歳(35～44歳)	9.0	14.7	18.0以上	12.5	→
50歳(45～54歳)	10.1	16.9	21.0以上	15.6	→
青年～高年期	16.3	19.4	33.0以上	17.8	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※歯間清掃用具を「毎日使用している」と回答した人の割合

④ 定期的に歯科健診を受けている人の増加

定期的に歯科健診を受けている人は増加し、目標を達成しています。

単位 (%)



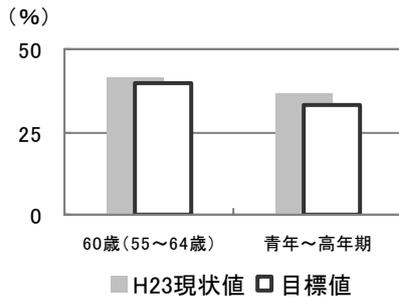
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
60歳(55~64歳)	27.0	33.0	40.0以上	41.7	○
青年~高年期	24.5	31.5	38.0以上	38.2	○

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※定期的に歯科健診を「受けている」と回答した人の割合

⑤ 定期的に歯石除去等を受けている人の増加

定期的に歯石除去等を受けている人は増加し、目標を達成しています。

単位 (%)



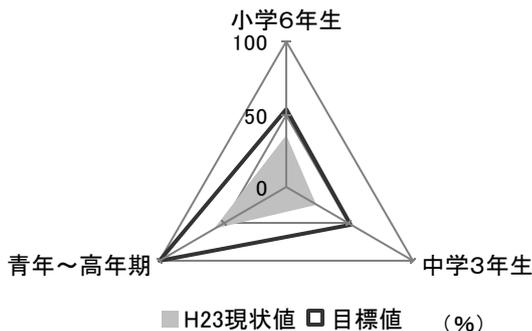
対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
60歳(55~64歳)	29.2	30.9	40.0以上	41.7	○
青年~高年期	22.6	30.1	33.0以上	36.5	○

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※定期的に歯石除去等を「受けている」と回答した人の割合

⑥ 8020運動を知っている人の増加

小学生及び一般市民では、8020運動を知っている人が増加しましたが、中学生ではやや減少しています。いずれも、目標には達していません。

単位 (%)

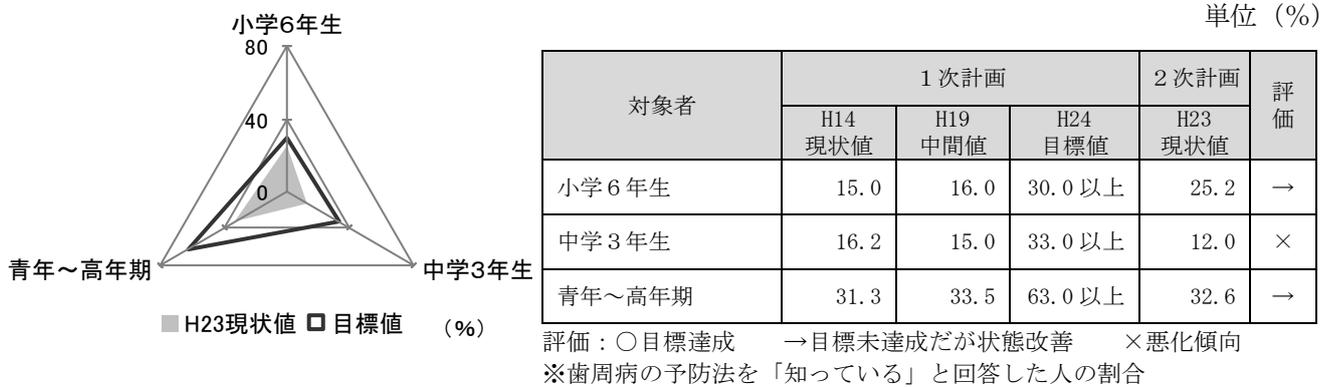


対象者	1次計画			2次計画	評価
	H14 現状値	H19 中間値	H24 目標値	H23 現状値	
小学6年生	26.3	16.2	53.0以上	35.1	→
中学3年生	25.5	16.7	51.0以上	23.7	×
青年~高年期	50.1	50.8	100.0	56.3	→

評価：○目標達成 →目標未達成だが状態改善 ×悪化傾向
※8020運動を「知っている」と回答した人の割合

⑦ 歯周病の予防法を知っている人の増加

小学生及び一般市民では、歯周病の予防法を知っている人が増加しましたが、中学生ではやや減少しています。いずれも、目標には達していません。



(7) 生活習慣病（糖尿病、循環器病、がん）

- ① 肥満（BMI 25.0以上）の人の減少（★再掲）
（6-（1）-①に同じ）
- ② 毎日野菜を摂取する人の増加（★再掲）
（6-（1）-④に同じ）
- ③ 運動習慣のある人の増加（★再掲）
（6-（2）-②に同じ）
- ④ 喫煙の影響を受ける疾患についての十分な知識の普及（★再掲）
（6-（4）-②に同じ）
- ⑤ 多量に飲酒する人の減少（★再掲）
（6-（5）-③に同じ）
- ⑥ 多量な飲酒の影響を受ける疾患についての知識の普及（★再掲）
（6-（5）-④に同じ）

(8) 母子保健

- ① 睡眠による休養が十分でない児童・生徒の減少（★再掲）
（6-（3）-①に同じ）
- ② 児童・生徒の喫煙をなくす（★再掲）
（6-（4）-①に同じ）
- ③ 児童・生徒の飲酒をなくす（★再掲）
（6-（5）-①に同じ）

7

市の現状のポイント

市の現状からは、以下のようなポイントが整理されます。

<各種統計データより>

- 人口は減少に転じている。（「江南市戦略計画」における推計よりも早い時期から減少傾向）（5ページ参照）
- 「悪性新生物」や「脳血管疾患」による死亡率が国や県よりも低い。反対に、「老衰」の割合が高い。（8ページ参照）
- むし歯のある幼児や小学生の割合は減少傾向。（13、14ページ参照）
- 妊娠中の飲酒や喫煙がゼロではない。（17ページ参照）
- 医療費は増加傾向。（平成21年度は約154億8,600万円）（21ページ参照）
- 高齢者の基本チェックリストでは、運動器の機能、口腔機能、認知症、うつへの該当が高い。（71ページ参照）

<アンケート調査より>

- 地域活動への参加の割合が高まっている。（26ページ参照）
- 中学生は、16歳以上と同じくらいのストレスを感じている。（66、67ページ参照）

